

育成 ニュース

発行元 (一社)京都手をつなぐ育成会

京都市右京区西京極新明町 38 番地 3

Tel.:075-322-1070 Fax.:075-322-1071

ホームページ <http://kyotoikuseikai.or.jp/>

メール: jimu@kyotoikuseikai.or.jp

事務局長就任のご挨拶

去る4月1日開催の理事会で事務局長を拝命いたしました、影近晴治（かげちか せいじ）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。西京区在住で現在、妻と娘の3人で暮らしております。

私は、3月末をもって37年間勤務した京都市役所を定年退職いたしました。市役所では、区役所、都市計画、歴史資料館、情報化、ごみ収集など様々な分野の仕事に従事してまいりましたが、残念ながら本会と最もつながりのある保健福祉局関係の仕事の経験はございません。

大変やりがいのある仕事であり、一日でも早くお役に立てるよう勉強してまいりたいと思いますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

影近 晴治



事務局長退任のご挨拶

このたび、3月末日をもちまして、京都手をつなぐ育成会の事務局長を退任いたしました。

平成29年4月に着任以来、在職中には本当に多くの皆様方から温かいご指導とご支援をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

まずは、略儀ながら書中をもちまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

植田 公一

青い鳥はがき無償配布	⑦	賛助会員名簿	⑧	新設事務局長ご挨拶	①	組織だより	②	青年学級だより	③	研修会報告	④
学びのコーナー	⑤	育成会のあゆみ	⑥	美山育成苑利用者募集	⑦	絵画展ご案内	⑦	相談件数	⑧		
活動計画/支部だより	⑧										

組織だより 令和5年4月号

3月は会議が多く報告に終始しますが、全て重要な内容ですのでお伝えします。

★令和4年度 第2回 生活支援委員会

3月6日（月）京都市社会福祉協議会主催で開催。今回の協議は、令和5年度事業計画（案）について話し合いました。日常生活自立支援事業は、認知症や知的障害、精神障害等によって判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用援助やお金の管理のお手伝い等、日常生活における援助を行う事業です。令和5年度の主な取り組みの一つに、日常生活自立支援事業から成年後見制度への円滑移行の推進もあげられています。自立生活が難しくなった方にも、安心して生活できる体制が求められます。

★令和4年度 京都府障害者施策推進協議会

3月8日（水）京都府障害者支援課による「第6期京都府障害福祉計画・第2期京都府障害児福祉計画」の実施状況について説明がありました。令和6年4月1日に施行される「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案の概要」には、障害者等の地域生活の支援体制の充実や、障害者の多様な就労ニーズに対する支援及び障害者雇用の質の向上の推進があげられます。

★近畿リーダー養成研修会

3月11日（土）大阪市において開催されました。講演と3つの育成会からの発表がありました。若い年代の会員を増やすにはどうすればいいのか。親亡き後も私たちには重要なテーマですが、若い年代の方にはまだ切実さが無いのではないかと。進路や卒業後の心配にも配慮する必要性が訴えられました。

★令和4年度 京都市障害者社会参加推進協議会

3月17日（金）開催。議題が「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（障害者アクセシビリティ）」の概要でした。

知的障害のある本人たちには、簡単な言葉でわかりやすく説明する必要があることや、親や支援者など本人の事を良く知る人に、本人の本当の思いをくみ取ってもらう必要について話させていただきました。

★京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク連絡会議

3月24日（金）開催。京都市の高齢者・障害者の権利擁護に関する取り組み状況について、京都市における市民後見人の養成、選任及び活動支援の取り組みについて等話し合われました。京都市では、平成24年度から「市民後見人養成講座」が開講されています。全国手をつなぐ育成会連合会の久保会長も市民後見人を広めていきたいと言われていました。知的・発達障害のある本人たちを良く理解されている方に後見人になっていただきたいものです。

会長 上田 副会長 吉田・田中

〜〜〜3月青年学級だより〜〜〜

3月25日(土)、コロナ感染も収束へのきざしにあるとはいえ、十分な配慮をして皆さんが楽しみにされている「春の日帰り学習」が行われました。

当日は午前8時、京都駅前バスプールに集合。7時過ぎにはもう何人かの人が集まっていました。今回は利用者の方45人、講師の方等15人、ガイヘル・付添の方10人と総勢70人がバス2台に分乗して出発しました。行き先は府下和束町から奈良公園、東大寺大仏殿、平城京宮跡などです。

その日の朝はあいにくの雨、皆さんガッカリして家を出掛けたようでしたが、京都駅前バスプールに集合した頃にはすっかり雨は止んでいて皆で「よかったねー」と言い合っていました。やはり日頃の皆さんの行ないは間違っていなかったようです。

8時30分京都駅前を出発、ノンストップ…1時間と少しで和束運動公園前の「てらす和豆香」に到着。ここで茶そば打ち体験をして食事をします。トイレと入念な手洗いを済ませて

「さぁー」茶そば打ち体験の始まりです。



まず粉をかき混ぜるのですが、その時の水加減とかき混ぜかたでほぼそばの出来具合が決まるというので大変です。少しずつの水を何度も入れてはかき混ぜ、ようやく生地らしくなったところで、今度はその生地を丸めては伸ばし…を、また何度も繰り返して生地が出来上がりました。

そして昼食になり、皆さんが切った、細めん、太麺、きし麺風など様々な茶そばが登場。

どれも味は美味しく見事な出来映えでした。「また、したい…」「おいしいなー」などといった声も多く聞かれ、皆さんにはとてもよい思い出に残る体験だったようです。

つぎの目的地は奈良公園から東大寺大仏殿、平城京宮跡です。さほど遠くもなくしばらくのドライブで到着しました。奈良公園、東大寺はさすがに多くの人で、外国の方もかなり多かったようです。公園内を歩きながら大仏殿までいくのですが、普通に歩くと大変です。シカさんの落とし物(う〇ち)に要注意なのです。ポーと歩いてしまうと踏んづけて、エライ事になってしまいます…。

そうこうして大仏殿も拝観して最後の目的地平城京宮跡へと向かいます。その途中に買い物をし、ここも近くなのですぐに到着です。



朱雀門をバックに記念撮影。久しぶりにマスクを気にせずポーズをとる皆さんの顔はどこかハレバレとしたように見受けられました。

午後4時過ぎ、予定のコースも終え京都への帰路につきました。京都駅前バスプールには5時過ぎ、予定より少し遅れて到着。体調をくずす人やけがの人もなく無事帰ることが出来ました。

利用者の皆さんや講師の先生方、そして同行いただいた皆様、ご参加いただいたすべての皆様方のお陰です。有難うございました。利用者の皆さんも楽しい一日が過ごせたようで何よりでした。

ひかり学園事務局 田中

『アロマセラピーで楽しみましょう!』

令和5年3月10日(金) 10:30~12:00 山科総合福祉会館会議室

『心地よい香りでリラックス』をテーマにアロマセラピーについて、体験を伴う研修会を開催しました。28名の参加者があり盛況な研修会となりました。

講師は田中智子(たなかさとこ)先生。

認定アロマセラピスト・予防医学認定レクチャー・ソーシャルアロマセラピスト・ハーブコーディネーター・日本茶アドバイザー等たくさんの肩書を持っておられます。

驚くほどの知識と素晴らしいアロマ愛で、幅広い活動をしておられる方です。

その活動の一つに京都市内の障害者福祉事業所で障害のある本人のケアや、事業所の職員にアロマケアの技術指導をされているということを知り、知的障害のある子どもを持つ親として、大変嬉しく思いました。



まず、香りって何? アロマセラピーとは? からお話がスタート。

1. アロマセラピーとは『芳香療法』であり、ヒトが本来持つ自然治癒力を高めるサポートをしてくれるもので、病気を治療するものではない事。
2. 香りを感じることで鼻から脳に伝わり、ホルモン分泌・免疫系・自律神経など体の生理機能を調整してくれる事。
3. 心地よいと感じる香りは、今の自分に必要な香りで、リラックスやリフレッシュ効果につながる事。

軽快でユーモアのあるトークに参加者は引き込まれ、お話に釘付けになりました。

アロマの取り扱いの注意事項など説明があり、引き続き粗塩を使った、モイストポップリ作りを体験です。

5つのテーブルに分かれて、三種類のアロマ精油から、それぞれが好きな香りを選び、香りの強弱の組み合わせも考えます。

全員が「今のわたしオリジナル」のポップリを作りました。

アロマの自然な香りが部屋の中に心地よく、お互いのポップリの香りをかがせてもらったり・・・テーブルごとに盛り上がった楽しい時間でした。

「手作り体験が出来るとは知らずの参加だったが、講義も体験もすごく楽しかった」

「楽しく、心地よい時間が過ごせて、来てよかった～」

との言葉を沢山いただきました。

田中先生に感謝するとともに、ご協力をいただきました山科区社会福祉協議会の皆様、またご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

今回の研修会を通じて、やはり、「癒し」って大切だな～と実感しました。

副会長 田中(東部支部)

日常生活から自閉症の特徴をみる ～ 「手をつなぐ」を読む ～

皆さんは、「手をつなぐ」に毎回掲載されている、「毎日すったもんだ」という4コマ漫画をご存知でしょうか。全国から届く自閉症の方のご家族からの投稿を基に、自閉症の方の「あるある」をユーモラスに描かれて、ファンも多く単行本も出版されました。

以下に一部をご紹介しますが、ご家族の方は、ユニークな我が子の行動をほほえましく見ておられることが伺えます。

1 文字を何となくの感覚で認識している

Aさんは新聞のテレビ欄で「秋の味覚さんまとほっけ」という記事を見て、「今日、さんまがでるで～」と言ったそうです。字は読めても前後の文字のつながりや文脈がわかっていないことがあるようです。

2 いつもの物がいつもの場所がないと気になる

Bさんは動物が苦手で、家にある可愛い動物のぬいぐるみも怖がります。そんなBさんを見かねて、ご家族がぬいぐるみを目立たないところに移したところ、Bさんは、ぬいぐるみがいつもの場所がないことが気になり、おそろおそろ指でぬいぐるみをつまんで、いつもの場所に戻しました。

3 教えたことはどんなときも守る

Cさんは、小さいときからお母さんに「きっちりと挨拶しなさい」と教えられてきました。そして誰にでも挨拶できるようになったのは良いのですが、選挙の投票所やワクチンの接種会場の入り口でも大きな声で名前を言うようになったのだそうです。

4 物をきっちり並べるのは良いのですが・・・

D君は物を自分の決めた場所にきっちり並べたがります。リモコンとスマホはテーブルの端に、キッチンばさみは所定の場所に戻します。トイレのスリッパは家族が履きにくくなるほど、壁すれすれに置きます。でも、自分が脱いだ靴はあちらこちらに向いているのだそうです。

5 ファッションの乱れが許せない

E君は、若い人たちが乱れた服装をすることが許せません。ファッションで破れたジーンズを履いていたり、ズボンをずらして履いている「腰パン」ファッションなどの若者を見かけると、大きな声で注意し、お母さんをヒヤヒヤさせます。

6 スケジュールを口にする

F君は、とにかくスケジュールが気になり、何度も口にしめます。通院の日など自分の日程はもちろん、選挙の投票日も何度も口に出して言います。おかげで家族は投票日を忘れずにすむのだそうです。

※ 「毎日すったもんだ」 (単行本は1,430円/冊)



- 機関誌「いくせい」が伝えてきたこと -

今回も第 13 号からです。育成会の誕生秘話が載っていますので、お伝えします。話は昭和二十七年に戻ります。

昭和二十七年二月、皆山中学校特別学級担任の藤波先生が研修に東京へ出張された時、丁度東京で親の集いがあった。常日頃、その問題に深い関心を持っておられた先生は、それに出席し、深い感銘を受けられた。

その後、先生は、高宮先生を始め、各方面の助言や指導を受け、機が熟するのを待って、十一月、保護者の井上、吉居、西岡の三氏と、皆山中学校に於いて、親の会の件について相談された。

そして十二月三日、準備委員会がもたれ、師走も慌ただし二十日に、卒業生保護者もまじえて初の保護者会が開かれた。

互いに求め合っていた会合ただけに、午後、七時に始まった会合だったが十二時過ぎても終わろうとせず、非常に感動的な会合となった。

ここに皆山中学校親の会は生まれ、その積み重ねは、全市中学校への呼びかけとなり、松原、弥栄、滋野など数校の保護者が二十八年十二月に皆山中学校に集まった。

※皆山中学校は、平成 19 年に下京中学校に統合されました。

育成会の誕生する瞬間が記されています。藤波先生は精薄児育成会結成大会に行かれたのでしょうか。たった一人の呼びかけが契機となり、たちまち同じ思いを持つ保護者のつながりが生まれます。この横のつながりが、高宮先生の尽力により、小学校まで拡がり、縦のつながりも生まれてきたとあります。

三月十一日、親達の希望と決意をこめて京都育成会は、生祥小学校で誕生した。十年の成長は、一人歩きもできるようにしたが、胎動期の藤波、高宮両先生の陰の力を忘れてはいけない。（「道しるべⅡ」によれば、当日は雨だったようです。）

井戸の水を飲むものは、その井戸を掘った人のことを忘れてはいけない。と中国のことわざがあります。この稿の締めくくりに育成会の発足に携われた皆山中学校の保護者からの投稿をご紹介します。

育成会も軌道に乗りかけた頃に惜しくも、発足当時から並々ならぬお世話を下さった高宮先生を失いましたことは育成会として大きな不幸でありましたが先生の御遺志をつぐために私たちは悲しみの中から立ち上がりました。（中略）

今後問題は沢山残されているとしても親同志のつながりを心の支えとして生きて来られたことは私たちの幸せでありました。

入所利用者募集

美山の自然の中で愛され続ける福祉施設へ
古き良き日本風景が残る、大自然に囲まれた美山に
位置する障害者支援施設「美山育成苑」です。



施設名 障害者支援施設 美山育成苑
募集人数 男性 3名 女性 6名
住所 〒601-0775 京都府南丹市美山町小淵クボ 50 番地 1
TEL : 0771-75-1561 FAX : 0771-75-1571
<http://miyamaikuseien.or.jp>

第6回

虹色の 飛行船展

自閉症などの仲間たち

2023. 4. 18 (火) ~ 23 (日)
10:00~18:00
(最終日16:00)

京都市美術館別館 1F

2010年以來、久しぶりの「虹色の飛行船展」を開催させていただきます。今回はメンバーも増えて、11歳から69歳までの14名による個性豊かな作品140点が展示されます。

油彩作品を中心に、色鉛筆、アクリル、水彩を使った作品もあります。自閉症などの障がいをもちながら、それを個性として自由な世界を展開してくれています。

虹色に彩られた飛行船に乗って、空を漂うような世界へのご案内致します。

日下部美術教室 日下部直起

青い鳥郵便はがきの無償配布

青い鳥をデザインしたオリジナル封筒にはがき20枚を入れた「青い鳥郵便葉書」を日本郵便株式会社が無償で配布されています。



対象者 重度の知的障害者（療育手帳にAまたは1度、2度と表記されている方）

受付期間 令和5年5月31日（水）までです。

最寄りの郵便局の窓口に療育手帳を提示し、所定の用紙に必要な事項を記入して提出して下さい。代人による提出も可能です。申込みに必要な用紙は、郵便局の窓口に備え付けてあります。郵送での申込は、申込書（郵便局のHPからプリントアウトできます）又は「青い鳥郵便葉書配布申込書」と明記した適宜の用紙に、手帳の種類・番号・程度、住所、氏名を記入し最寄りの郵便局に提出又は郵送して下さい。

賛助会員にお申込み頂き心より感謝申し上げます（敬称略）

奥村 みどり 橋本 久美子 川口 文子 木山 知子 富永 亨
 船越 育雄 船越 恵子 田崎 義末 小笠原 毅 小笠原 貴美子

【5月活動計画】

- 6 法律相談
- 7 青年学級（アート さっくり工作）
- 11 コールいくせい練習（ひかり学園）
- 20 理事会
- 21 青年学級（アート さっくり工作）
- 23 文化委員会
- 24 支部長会
- 25 コールいくせい練習
（京都岡崎いきいき市民活動センター）

【支部だより】

南 5/5 支部総会
（南区ボランティアセンター）
 伏見 4/28 支部総会（伏見区総合庁舎）

【無料電話・メール相談等本部受付件数】

《3月相談件数》

法律 1件 医療 2件 療育 6件
 その他 1件 専門家による相談 1件



令和5年の法律相談 9:30~12:30

5月6日（土）担当弁護士 森田 浩輔 氏

当番の相談員もいます。お気軽にお越しください。



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない・・・
 成人病や生活習慣病に備えたい・・・
 他人の物を壊してしまった・・・
 虐待・雇用現場での差別など
 人に相談しにくい悩みがある・・・

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの **あんしん保険**

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの **こども傷害保険**

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に・・・

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
 【2020年1月作成 19-TC06633】

0120-322-150
平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
 URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

株式会社 京都インシュアランス

〒604-8141 京都市中京区朝顔師通高倉西入泉正町334 日昇ビル2階
 京都フィナンシャルパーク内
 TEL:075-253-6848 FAX:075-253-6846 <https://www.kyoto-insurance.com/>